



湿原散歩

積った雪が徐々に解け始め、眩い陽射しの下では黄金色に輝くフクジュソウの花が咲いていた。湖畔の水辺にはヒシクイやオオハクチョウの姿が見え、やがて北へと向かう長旅を控え羽を休めながら体力を蓄えているようだ。霞んだ湿原の景色を見ながら歩く足元には、ヤチボウズが頭を出していた。流れる風はまだ冷たいが、その風に乗って野鳥のさえずりが聞こえ、近くにあるハンノキの枝もヒューヒューと音を出していた。一見何もない荒涼とした景色の中で、目や耳、鼻、肌から早春の息吹を感じた。



塘路フィールドノート【2/15～3/14】

【野鳥】

解氷が進みつつある湖面に、水鳥たちの姿が戻ってきました。まだ限られた範囲に限られた種が見られる程度ですが、これからさらに解氷が進むにつれて、水辺は鳥たちの羽音や鳴き声で賑やかになってくるでしょう。



タンチョウ (シラルトロ湖)

湖上を優雅に飛んでいった2羽。湖岸のヨシ原や水辺などで見かけることも多いです



カワアイサ (シラルトロ湖)

湖の未結氷部分で時々見かけます。湖面の解氷とともに今後さらに増えてくるでしょう



マガモ (シラルトロ湖)

現在最も個体数が多いカモ。3月に入ってから頻繁に見かけるようになりました



オオハクチョウ (塘路湖)

今の時期おなじみの光景。センター西側の湖上で群れを作っていることが多いです



セグロセキレイ (塘路湖畔)

昨年末以来久しぶりの確認。解氷が進んだ湖岸をすばしっこく動き回っていました



ツグミ (塘路湖畔)

散策道上から近くの木に飛び移ったところ。今冬はあまり姿を見なかった気がします

○もうすぐお別れ

春といえば別れの季節。塘路湖畔でも雪と氷の風景との別れの時期が近づいてきています。湖畔の散策道の雪はほとんど解け、散策道脇では植物の芽吹きも見られるようになってきました。また、湖面の解氷も徐々に進んで、湖岸沿いの開水面は日に日に広くなり、湖面の色も一部白から薄いグレーに変わってきています。毎年このことですが、冬の間は雪解けや解氷が待ち遠しく思えるのに、いざその時期が来ると、不思議と名残惜しく感じてしまいます。



<お世話になりました>

この度、私事ですが3月末をもちまして定年退職となります。温根内ビジターセンター、塘路湖エコミュージアムセンターの業務を通して、様々な人たちと関わることができました。また多角的な面から釧路湿原について学ばせていただきました。今後は新スタッフの下、塘路湖エコミュージアムセンターも更にグレードアップすると思いますので、よろしく願いいたします。大変お世話になりました。

前センター長 佐藤光則

【開館時間変更のお知らせ】

4月1日（金）よりセンターの開館時間が下記のとおり変更となります。

○ 10:00～16:00 → **10:00～17:00**（10月31日まで）

3月5日（土）に開催予定だった「塘路フィールドウォッチング～晩冬編～」は
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

4月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

早春の湿原 野鳥観察会

[日 時] 4月23日（土）10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] シラルトロ湖畔・蝶の森（集合はシラルトロ自然情報館駐車場）

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

春の足音を聴きに行こう

[日 時] 4月10日（日）10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

(0154-65-2323)

令和4年度 自然ふれあい行事予定表

<p>●早春の湿原 野鳥観察会 4月23日(土) 10時～12時 定員10名 早春の釧路湿原に生息する野鳥を散策しながら観察します。</p>	<p>●晩秋の湿原 野鳥観察会 10月29日(土) 10時～12時 定員10名 越冬のため釧路湿原に渡ってきた野鳥を散策しながら観察します。</p>
<p>●標茶でみつける身近なトンボ展 5月1日(日)～5月15日(日) 10時～17時 標茶町で見られるトンボを紹介する写真展です。(標茶町博物館との共催行事)</p>	<p>●初冬のキノコ講座 11月5日(土) 10時～12時 定員10名 夏と秋の観察会で見られたキノコについて講師が解説する座学講座です。(当回だけの参加も可)</p>
<p>●春の展望台散策会 5月7日(土) 10時～12時 定員10名 サルボ・サルルン展望台周辺を散策しながら、飛来し始めた夏鳥や春の植物を観察します。</p>	<p>●クリスマスリースを作ろう 11月26日(土) 13時～15時 定員10名 松ぼっくりや木の実などの自然の素材を使ってリースを作ります。</p>
<p>●新緑の湿原 野鳥観察会 6月4日(土) 8時～10時 定員10名 夏鳥が勢揃いしたフィールドで、繁殖期の野鳥の姿とさえずりの特徴を教わりながら散策します。</p>	<p>●シマエナガフィギュアを作ろう 12月3日(土) 13時～15時 定員10名 紙粘土を使って「雪の妖精」と呼ばれるかわいいシマエナガのフィギュアを作ります。</p>
<p>●縄文土器作り講座 7月2日(土) 10時～14時 定員10名 縄文時代の遺跡が残る塘路、当時の土器を参考にオリジナル土器を作ります。</p>	<p>●塘路フィールドウォッチング～初冬編～ 12月17日(土) 10時～12時 定員10名 初冬の塘路湖畔で、オオワシ・オジロワシなどの野鳥や塘路湖の氷の造形などを観察します。</p>
<p>●夏の湖畔散策会 7月16日(土) 10時～12時 定員10名 色とりどりの夏の花や昆虫などを観察し、色彩豊かな夏の塘路湖畔を楽しみます。</p>	<p>●連凧を作って揚げよう 1月7日(土) 10時～12時 定員10名 自作の凧に干支文字やイラスト等を描いて、新年を迎えた湿原の空に揚げてみましょう。</p>
<p>●夏休み 釧路湿原キノコ観察会 8月6日(土) 10時～12時 定員10名 森の中を散策しながら、夏に見られるキノコを観察します。親子や大人を対象にした観察会。</p>	<p>●釧路湿原フィールドウォッチング 2月4日(土) 10時～12時 定員10名 雪のフィールドを散策しながら釧路湿原の自然や遺跡を観察します。スノーシュー使用。</p>
<p>●秋のキノコ観察会 9月3日(土) 10時～12時 定員10名 森の中を散策しながら、秋に見られるキノコを観察します。親子や大人を対象にした観察会。</p>	<p>●塘路フィールドウォッチング～晩冬編～ 3月4日(土) 10時～12時 定員10名 残雪のフィールドを散策しながら塘路湖周辺の自然や遺跡などを観察します。</p>
<p>●塘路フィールドウォッチング～錦秋編～ 10月22日(土) 10時～12時 定員10名 色彩豊かな秋の塘路湖畔を散策して、色付く木々や水鳥などの秋の風物詩を観察します。</p>	<p>※事前の申し込みが必要です。(写真展を除く) ※申込み先：塘路湖エコミュージアムセンター ※定員に達し次第締切りとなります。 ※定員は現時点での予定(変更の可能性あり)</p>

◆日出・日入時間 2/15(6:20,16:53). 2/28(6:00,17:10).3/14(5:36,17:27)

～編集後記～

■3月に入り、雪解けも進んで、ワカサギ釣りで賑わっていた塘路湖にはオオハクチョウが羽を休める姿を見かけます。日当たりの良い丘陵地ではフクジュソウが咲き始め、鳥たちのさえずり聞こえる釧路湿原も徐々に春に向かって歩んでいるようですが、彼岸荒れと言われるように、まだまだ降雪は油断できません。毎年このことですが、一進三退くらい!?で季節が進んで行く湿原の春です。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料